

月報 白樺

ALPINE CLUB / WHITEBIRCH NAGANO

8月の活動予定

8月7日(火) 第一例会

8月28日(火) 第二例会・暑気払い

8月3日(金)～6日(月) 梅海新道

8月3日(金)～4日(土) 白馬三山

8月10日(金)～12日(日) 夏合宿 源治郎尾根

8月18日(土)～20日(月) 槍ヶ岳

9月の活動予定

9月4日(火) 第一例会

9月18日(火) 第二例会

9月1日(土)～2日(日) 谷川岳(天神平～茂倉～蓬平～白毛門)

9月15日(土)～17日(月) 裏剣(黒部～真砂沢ロッジ～池の平)

9月22日(土)～25日(火) 読売新道(七倉～烏帽子～赤牛～黒部)

9月30日(日) 鳥甲山

新しい方が入会されました。

さん

さん お二人ご夫婦です。

山行ご一緒できるのが楽しみです。

6・7月の活動報告

6月17日(日) 浅草岳 ～ヒメサユリ山行～

参加者:

天気:晴れ

当初の予定は歩行距離の短いネズモチ平登山口からでしたが、災害復旧工事のため通行止めになっており、六十里越登山口からに変更。これが大正解でした。

4時に長野を出発し7時過ぎに登山口駐車場に到着すると、30台ほど止められるはずの駐車場はすでに一杯で、少し戻ったところに路駐。支度をしている間にもどんどん車が登ってきます。

最初少し登った後は巻くように水平に歩いて行きます。登山ポストから登ったから間違いはないはずだが・・・この道で良いのか・・・地図で確認。鉄塔の巡視路も兼ねているようで、左手に登る方向にきれいに刈り払われた道があり、おまけに赤テープがあったりで紛らわしい。誤って入り込んでしまった人もいました。左に折れて登り始めると、なかなか滑る道で帰りが思いやられます。1時間ほどでマイクロ中継局に到着。草付きの明るいところで休憩適地です。まだ雪の残る形の良い山が見えるので尋ねると、「ケモウヤマ、あそこを登るのは大変だ!」とのこと。帰って調べたら、「毛猛山一般登山道は無い」そうです。「こんなに混んでいるのは初めて!」とも。ツバメオモトやサンカヨウ、ユキザサ、チゴユリと花も多い。登りで「この花なんだろうね?」と言っていた花は、写真を撮っている人に聞いたら「コケイラン」で珍しいとのこと。

南岳に着くと、その先にはピンク色が見えています。さあ、



今年の物見の練習は、8月2日で終了しました。
今年は参加者も多く、有意義な練習ができました。
指導してくださった皆さんありがとうございました。

ヒメサユリロードの始まりで、テンションあがります。稜線の花はちょうど見頃ですが、右側は切れ落ちているので写真撮影は要注意です。あっちから撮りこっちから撮りしながら鬼が面山に到着。浅草岳に向かう稜線がよく見えます。緩く登っていく感じだねえ・・と思ったのは大間違いで、ここから北岳、ムジナ沢カッチ、前岳とアップダウンを繰り返す厳しい行程でした。前岳少し手前で 足が上がりなくなりここで休憩していることに。 3人で山頂に向かいました。

前岳を過ぎると木道となり、雪渓をわずかに登ると浅草岳の山頂。360度の大展望。下には田子倉湖の水面、青空をバックに守門岳、八海山、越後駒、燧ヶ岳とすばらしい！平ヶ岳、会津駒はあれかなあ？御神楽岳も見える？十分楽しんで 合流。足も回復したようです。青空に映えるベニサラサドウダン、ウラジロヨウラク、見事なゴゼンタチバナロード、シラネアオイも咲いていました。帰りもヒメサユリに癒やされながら下山すると、あんなに停まっていた車はほとんどありませんでした。よく歩きました！



長野 4:00 — 六十里越登山口 P 7:10/7:30 — マイクロ中継局 8:35 — 南岳 9:38 —
鬼ガ面山 10:18 — ムジナ沢カッチ 11:19 — 前岳 12:25 — 浅草岳山頂 12:42/13:10
ムジナ沢カッチ 14:07 — 北岳 14:42 — 鬼ガ面山 15:13 — 南岳 15:55 —
マイクロ中継局 16:42 — 六十里越登山口 17:30

7月14日(土) 赤岳～権現岳(真教寺尾根 キレット)

天気:晴れ

参加者:

天気予報では、二日間とも晴れ、猛暑との予報。暑さを覚悟して出発。道の方向を間違え、20分程のロス。羽衣池までは牧場を横切ったりしながら、八ヶ岳横断道路を歩く。いよいよ登山道に入るが、途中の賽の河原まではリフトが動いており、リフト降り場は観光客で混雑していた。ここからは赤岳の手前の牛首山への登りの道となる。樹林帯の中の日陰



の道ではあるが、長く続く急登で、大変だった。山頂からはなだらかな登山道を気持ちよく歩く。しばらく行くと、いよいよ上げるような岩場に出た。ここから岩場の連続かと

思われたが、岩場の後は尾根道をしばらく行く。また、大きな岩場に出た。ここからはずっと岩場の連続だった。物見の練習も思い出しながら、登っていく。心なしか皆楽しそうだ。登っている最中の小さな岩の隙間にもイワツメクサやシコタンソウ、チシマギキョウなどが次々と咲いていて、緊張のなかにも楽しく夢中で登った。竜頭峰のあたりは一面チョウノスケソウが咲いていた。様々な種類の高山植物が咲いていて、写真を撮るのに忙しい。山頂直下の岩場を登り、到着。赤岳頂上山荘にチェックイン。混雑を予想していたが、布団も一人一枚、荷物置き場も用意されて、快適だった。食堂からの展望も申し分なく、楽しい山小屋だった。

7月15日(日)

天気:晴れ

起床後、赤岳山頂でご来光を楽しみ、6:10山荘出発。キレットへ向け降りていく。眼前に富士山、南アルプス、右手には阿弥陀への登山道がみえる。朝の陽ざしの中の山



は緑もきれいで、思わず立ち止まって眺めてしまう。岩場の登山道をしばらく行くと、鎖のついたトラバース道があり、その先にハシゴが掛かっているのが見える。すれ違いが難しいので登ってくる人と声をかけながら通行する。少し緊張したが、ゆっくりと通る。今度は、斜度のある赤い石のザレ場が続く。滑らないように、石を落とさないように気を付けて下る。降り切って振り返ると目の前に今通ってきたキレットと赤岳が大きく見える。あそこをああやって降りてきたんだねと振り返る。キレット小屋で休憩し、このあたりに咲いていると聞いてきた白いコマクサの事を小屋の人に聞いてみた。一輪だけ咲いていた。キレット小屋から権現岳の間のツルネに思いもかけずコマクサの群生を見つけ、少し得した気分になる。権現岳では狭い岩場の山頂で写真を撮る。三ツ頭を通り、長い下りを下山した。駐車場に着くと、下界は猛暑だったのだなと実感した。



7/14 長野 4:30—天女山駐車場 6:32/6:55—羽衣池 9:05/9:15—牛首山 11:22—キレット分岐 14:26—文三郎分岐 14:45—赤岳山頂 14:55—赤岳頂上山荘 15:05
7/15 山荘発 6:10—文三郎分岐 6:37—キレット終り 7:55—キレット小屋 8:08/8:25—旭岳 8:56—権現小屋 10:20/10:47—三ツ頭 11:39—天女山駐車場 14:09—長野 18:30

7月20日(金)・21日(土) 白山～別山(観光新道～チブリ尾根)

参加者:

天気:晴れ

7/20(金)

「命に係わる猛暑」と連日報道されている中での白山山行で気象条件としては、厳しそうですが、花の百名山でもあるので非常に楽しみな山行です。

翌日の下りは、別山のチブリ尾根となるので、車は別当出合ではなく市ノ瀬のPへ駐車。金曜日なので余裕。7:50分の定期便バスで別当出合へ。別当出合からは観光新道で白山室堂を目指します。観光新道は、白山登拝の越前禅定道の一部で、その尾根に出るまでいきなりの急登。殿ヶ池



小屋のあたりからは花畑がちらほら。馬のタテガミまで登ってくると周り是一片の花畑で疲れも忘れるほど。ガスが湧いてきて陽ざしがさえぎられ、風もあつたので体力回復。黒ボコ岩を通り、弥陀ヶ原から五葉坂を登って白山室堂。ビジターセンターを中心に宿泊施設が4棟、他にトイレ等の建物もあり立派です。室堂から北方には白山連峰の最高峰の御前峰が白山ひめ

神社祈禱殿の奥にあります。ガスが湧いてきます。眼下には紺屋ヶ池・翠ヶ池が見渡せ雪も残っています。血ノ池・千蛇ヶ池を見ながら周回し室堂に戻り初日終了。



7/21(土)
ご来光を見に

は日の出1時間前の祈禱殿の大太鼓の音で起床したと思われませんが、山頂へ。私はまだ寝ていました。5:30分

朝食。は神職と、ご来光を見られとても良かったと大満足。

6:30分センター発。展望歩道を通り、南竜ヶ番場のテント場を經由して別山を目指します。展望歩道は、北アルプスが一望。テント場まで降りてくるとテント場の周りは花畑。南竜ヶ番場から、石徹白道(昔の美濃禅定道)をたどり別山へ。油坂下の雪渓もアイゼンなしで大丈夫。花畑の尾根を進みます。ニッコウキスゲ、ハクサンコザクラ、ハクサンイチゲ、チングルマなどが咲いています。土曜日なので予想以上の人がいます。別山山頂も20人程で混んでいました。山頂から御舍利山分岐まで戻り、チブリ尾根を市ノ瀬まで長い尾根を下り16:30分市ノ瀬P着。

天候は暑く、観光新道から別山と距離のある山行でしたが、花畑のなかを歩く大変魅力的な山行となりました。白山はまさに花と信仰の山でした。

今回の山行に際し、の車を貸していただきスムーズな移動ができました。本当にありがとうございました。



7/20(金) 小布施P(3:00発) 市ノ瀬P(7:50バス発) 別当出合(8:30着) 別当出合(8:20発登山開始) 殿ヶ池小屋(11:40着) 黒ボコ岩(13:05着) 室堂ビジターセンター(13:35着) 御前峰・山頂池周回(約1時間30分)
7/21(土) 室堂ビジターセンター(6:30発) 南竜ヶ番場テント場(8:15着 8:30発) 御舍利山分岐(11:10着) 別山山頂(11:20着 11:50発) 御舍利山分岐(12:00) チブリ小屋(13:20着 13:30発) 市ノ瀬登山口(15:55着) 駐車場(16:30着)

7月8日(日) 第31回夏山登山教室

参加者:

皆様、公民会の皆様に変にお世話になり、ありがとうございました。

今回は虫倉山を登りたいですね。



中条公民館・長山協主催の夏山登山教室に参加してきました。

大雨の影響で5日には中条地区に避難避告が出たり、天候が不安定なことから虫倉山の登山は生憎中止になりましたが、中嶋豊さんの講演会の時間を朝から長くとって頂きました。



中嶋さんは、素敵イラストの信州山歩き地図が有名ですが、かれこれ20年以上も前から地図を描かれており、登った山も何度も描き直されているそうです。過去の山行や最近の山事情、山岳遭難の状況など、どれも興味深く大変勉強になりました。

講演会後は、皆で名物のおぶっこおやきをご馳走になり、満腹。

当方、おぶっこは生まれて初めて食べましたが、極太麺でなかなか食べごたえがありました！



中条山岳会の

7月1日(日) 荒沢岳

天気:晴れ 気温 36 度

4:00 にループ橋集合し、十日町、小出、奥只見シルバーラインのトンネルを通り、銀山平の駐車場に6:40着。10台が駐車し、すでに満車状態だった。登山口には、警告の看板があり、「荒沢岳は上級者むけのコースです。本格的登山経験の無い方は引き返す勇気を」とある。気を引き締めて出発する。ここは豪雪地帯。5mを越える。積雪期鎖を外し今年は6/9に設置し、6/10から登山可能になったと魚沼市観光協会がHPに書いている。有難い事だ。

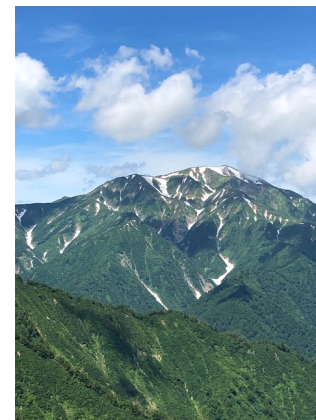
しばらくは樹林帯を登る。登山道は濡れてあちこちに滑った跡がある。登る事1時間、前山の三角点に着く。7:45。展望が開け、下に奥只見湖が見える。前方には荒沢岳と、手前に前山の岩峰がくっきりと見える。晴れて良かったが、暑い。ブナの稜線を上ったり、下ったり3つのピークを越えてコルに着く。前山下9:00。いよいよ鎖、梯子、ロープが始まる。今日は暑さとの戦いだ。吹き出るような汗をかきながら鎖場をいくつか越えると尾根に出た。目の前に前山がドカンと現れ、その先に荒沢岳。素晴らしい眺めだ。登山道がはっきりと辿れる。ここで水をたっぷり飲み、ヘルメットをつける。これからが核心部。それにしても暑い。少し下ってトラバースしながら草付きの岩場を鎖に頼りながら登り切る。前山9:55着。フー暑い！堂々とした越後駒ヶ岳が見える。大分前、越後駒に登った時も暑かった。首に差す日差しが強烈で首が燃えるかと思ったほどだった。新潟の山には夏は登らないようにしようと思った事を思い出した。今日も気温も湿度も高く、風が全く無い。途中で出会ったご夫婦のご主人はバテて休んでおられた。こんな事は初めてだそうだった。



前山からの荒沢岳と前山



これから前山に向かう



堂々と越後駒ヶ岳



奥只見湖とシクナゲ

ここからは、快適な稜線歩きかと思いきや、なかなか山頂が近づいて来ない。東側は中荒沢、西側は蛇子沢へとスパッと切れ落ちた痩せ尾根は、所々、浮石がザラザラと落ちていきそうで、自分が落ちないよと気が抜けない。暑さはうだるような暑さとなり、そんな中、元気に咲いているお花に出会う。コバイケイソウ、シクナゲ、ニッコウキスゲ、クルマユリ、白いイワカガミ等々。お花から元気を分けてもらい、歩き続ける。

風が通る所で生き返り、先に進む。

大きな岩を越え、右に回り込み、2つの岩場を越えると、ようやく、山頂にたどり着いた。12:25 出発してから5時間半。見たことない程沢山のトンボが出迎えてくれた。360度の絶景だ。

2週間前に登った浅草岳が遠くに見える。越後三山を辿ると、越後駒ヶ岳、中ノ岳、雲に隠れて見えそうな見えなそうな八海山。平ヶ岳、燧ヶ岳の柴安嶺と俎嶺の特徴ある山も見える。

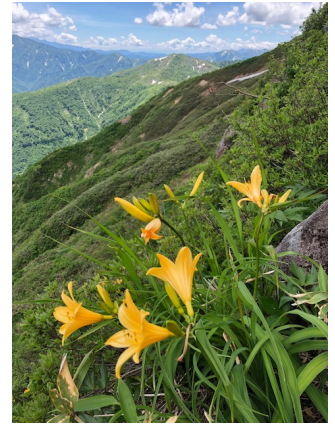
中ノ岳をもう一度眺め、次は中ノ岳に登りたいと思った。登山道が荒沢岳から兎岳そして中ノ岳へと続いている。十字峡から丹後山、兎岳、中ノ岳の周回コースを目で辿ってみる。十字峡からの往復でもいいか…思いは尽きない。

下りも鎖、梯子、ロープを使い、登山口に16:35到着。

12年前会で荒沢に登った時はもう少し楽に感じた。9月だったからか？帰り、銀山平の白銀の湯に寄り、缶コーヒーと牛乳を飲み、湯上りに、お茶を500cc飲み、ようやくのどの渇きが治まった。

小野さん、長距離の運転ありがとうございました。

荒沢岳今日は36度だったそうです。



ニッコウキスゲ



トンボが沢山 荒沢岳 山頂



前山の鎖 慎重に下る



7/1(日)長野(ループ橋)4:00=銀山平登山口6:40/6:50-前山7:45-前山下9:00-前山9:55-荒沢岳12:25/12:40-前山14:15-前山下15:00-前山16:00-銀山平登山口16:35=銀山平/白銀の湯=長野20:30

7月19日(木) 韓国岳(百名山)

百名山 99 座目になる霧島連山の最高峰、韓国岳に登って来ました。

6 月に九州を旅した時には、硫黄山と新燃岳の噴火で入山が規制されていて登れなかったのですが、6月末に新燃岳が3km から2kmに規制が縮小され、大浪池登山口から韓国岳への登山が可能になったのです。これから先何年も規制が続くと思っていたので、驚きました。

麓のえびの高原エコミュージアムセンターに電話をかけると、「大勢登っていますよ。これから1週間は晴天が続くので、是非いらしてください」と言われました。息子からも「またいつ噴火するか分からないから早く行った方がよいよ」と背中を押され、思い切って行く事にしました。あてにしていた夫は他に都合があるそうで、一人で行く事に。鹿児島まで車で行くか、大阪までバスで行き船で行くかと調べましたが、羽田から飛行機が一番楽と言う事で、初めて、ネットで格安航空チケットを往復予約し、レンタカーもネットで最安値を予約し、中央タクシーの空港便も予約。「日帰りですか？」とびっくりされました。

硫黄山が活発に活動しているので、規制がかかるかと不安もありましたが、当日は、穏やかで、問題ありませんでした。

大浪池の駐車場からのコースはとても良く整備されていて、石の階段や木の階段がずっと続き、遊歩道になっていました。

大浪池に着くと、コバルト色の池の向うに韓国岳がくっきりと聳えて美しいです。池の回りは樹林帯で涼しく、所々から池が眺められ、池の色が変化するのを楽しみながら歩くことができました。



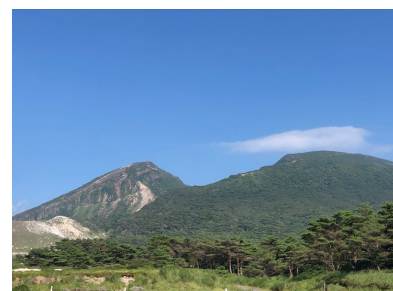
山頂直下は火山特有の火山溶岩のガラガラした岩場で、登り切ると、山頂の韓国岳の看板が出迎えてくれました。山頂からは、新燃岳と高千穂峰がはっきり見えましたが、遠くは霞んで桜島はよく見えませんでした。韓国岳の火口が大きく真下にありましたが、先日の大雨で火口が湖になっていました。珍しいことだそうです。



山頂は風がビュービュー吹いて、猛暑を忘れる涼しさでした。

麓まで2度も来たのに大雨と噴火の為登れなかった韓国岳。ようやく登る事ができました。

下りはたくさんの珍しい



蝶々が次々現れて、99座目を一緒に喜んでくれているようで、ウキウキ気分を下って来ました。

帰りはえびの高原荘に寄り韓国岳を眺めながら温泉に入りました。えびの高原荘の人も韓国岳に登れるようになって早速皆で登ったとブログに書いていましたが、長野から来たと話したらとても喜んでくださいました。

百名山目指して13年になります。百名山を達成した時、「人生思い残す事何もない」と晴れ晴れとされている姿に刺激され私も同じ感動を味わいたいと始めた百名山でした。40座登っていたので、1年に6座登ると10年で達成と計画して、進めて来ましたが、ようやくゴールが見えて来ました。ここまで来る事が出来たのは、一緒に登って頂いた皆様のお蔭です。楽しい思い出がいっぱいの百名山です。本当に有難うございました。100座目は車山を残しています。孫と一緒に登る約束をしています。10月に実現させたいと、その日を楽しみに夢見ています。百名山に挑戦して本当に良かったです。

7/19 (木) 長野自宅 0:50=羽田空港 6:00/7:55=鹿児島空港 9:30=レンタカー-10:00=大浪池登山口 10:40/11:00=大浪池休憩所 11:25=避難小屋 12:00=韓国岳山頂 12:45/13:10=避難小屋 13:45=大浪池休憩所 14:25=大浪池登山口 14:50=えびの高原荘 15:30/16:30=えびの高原 16:45=レンタカー-18:00=鹿児島空港 18:30/20:35=羽田空港 22:20=長野自宅 4:30